

2017年1月4日

各位

会社名 株式会社 キャンバス
 代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己
 (コード番号:4575 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役最高財務責任者兼管理部長
 加登住 真(電話 055-954-3666)

第2四半期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2016年8月12日に公表した2017年6月期第2四半期累計期間(2016年7月1日～2016年12月31日)及び2017年6月期通期(2016年7月1日～2017年6月30日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2017年6月期第2四半期累計期間業績予想数値(2016年7月1日～2016年12月31日)

	事業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50	△319	△319	△320	△63.79
今回修正予想 (B)	55	△226	△227	△228	△45.44
増減額 (B-A)	4	93	92	92	
増減率 ((B-A)/A)(%)	9.4	—	—	—	
《参考》前期第2四半期実績 (2016年6月期第2四半期)	50	△136	△138	△139	△29.42

(注)金額は単位未満切捨、比率は小数第1位未満四捨五入。増減額・増減率は円単位で計算した結果を表示しているため百万円単位で計算した結果と一致しません。

2. 2017年6月期通期業績予想数値(2016年7月1日～2017年6月30日)

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	105	△630	△630	△631	△125.64
今回修正予想 (B)	110	△465	△466	△467	△93.11
増減額 (B-A)	5	164	163	163	
増減率 ((B-A)/A)(%)	4.4	—	—	—	
《参考》前期実績 (2016年6月期)	105	△399	△413	△414	△85.77

(注)金額は単位未満切捨、比率は小数第1位未満四捨五入。増減額・増減率は円単位で計算した結果を表示しているため百万円単位で計算した結果と一致しません。

3. 修正の理由

(1)事業収益

当社が創出した抗癌剤候補化合物CBS9106のライセンス先である米国Stemline社から受領する「技術アドバイザーフィー」について、前期実績をもとに業績予想を策定しておりましたが、2017年6月期第2四半期累計期間実績がこれを上回ったものです。

(2)営業損失・経常損失・四半期純損失・当期純損失

当社が準備を進めているCBP501臨床試験(フェーズ1b試験)について、2016年8月12日公表の期首予想を策定する時点では、最速で準備が進めば第1～第2四半期のうちに臨床試験開始に至る可能性があり、その場合には本格的な費用発生が第1四半期から始まることが想定されていました。

このため期首予想は、最も保守的な(早期の費用発生の大い)業績予想としておりました。

しかしながら、臨床試験開始準備は順調でありつつも最速には至らず、開始時期は2017年6月期第3～第4四半期の見込みとなりました。また、これに伴い第2四半期までの準備費用発生も抑制されたことから、第2四半期累計期間の営業損失・経常損失・四半期純損失は大幅に縮小いたしました。

2017年6月期第2四半期累計期間の営業損失・経常損失・四半期純損失が前期(2016年6月期)第2四半期実績を上回ったのは、CBP501臨床試験開始準備費用ならびに後続候補化合物探索創出関連費用の増加によるものです。

事業収益・営業損失・経常損失・四半期純損失・当期純損失のいずれも東京証券取引所上場規程に定められている業績予想差異の開示義務基準(事業収益については10%・その他については30%)に厳密には該当していませんが、いずれも当該基準にきわめて近い変動であることから、今回の適時開示を実施しております。

なお、上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後さまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

以上